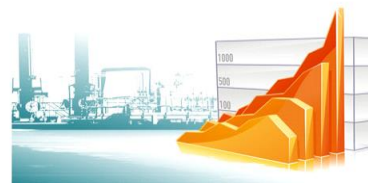


# ぎふ経済レポート



令和3年1月分  
岐阜県商工労働部

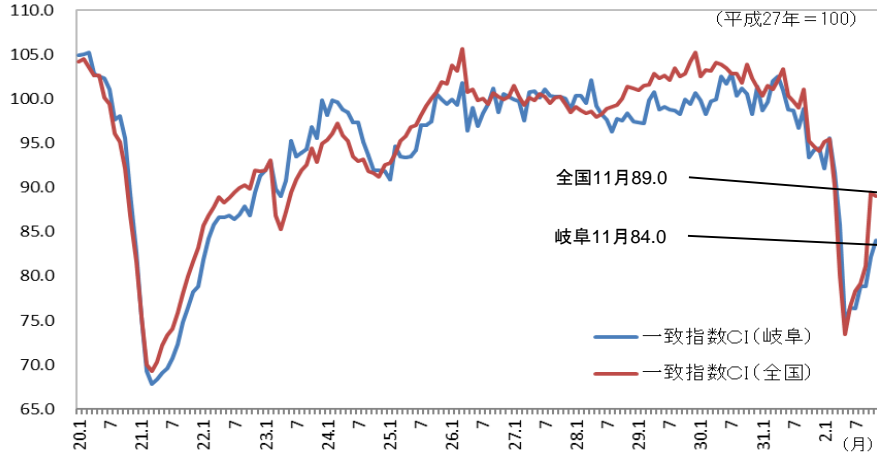
※企業等へのヒアリングは 1月25日～27日を中心に実施し、2月19日時点で作成。

# 景気動向

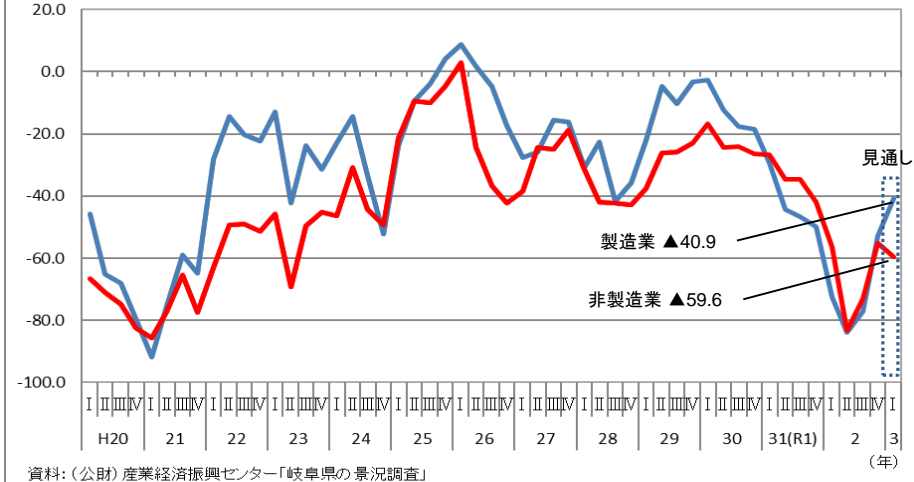
- 11月の景気動向指数(一致指数)は、84.0で前月比1.8ポイント上昇した。
- 12月の県内中小企業の景況感は、▲71で前月比横ばい。

- 1-3月期見通しの景況DIは、製造業で12.0ポイント上昇、非製造業で4.5ポイント低下した。
- 同売上高DIは、製造業で8.4ポイント低下、非製造業で2.4ポイント上昇した。

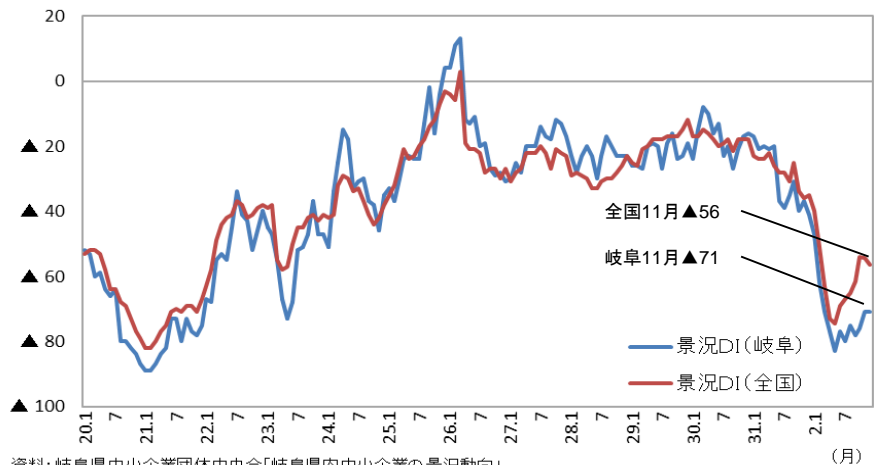
岐阜県及び全国の景気動向指数(一致指数)の推移



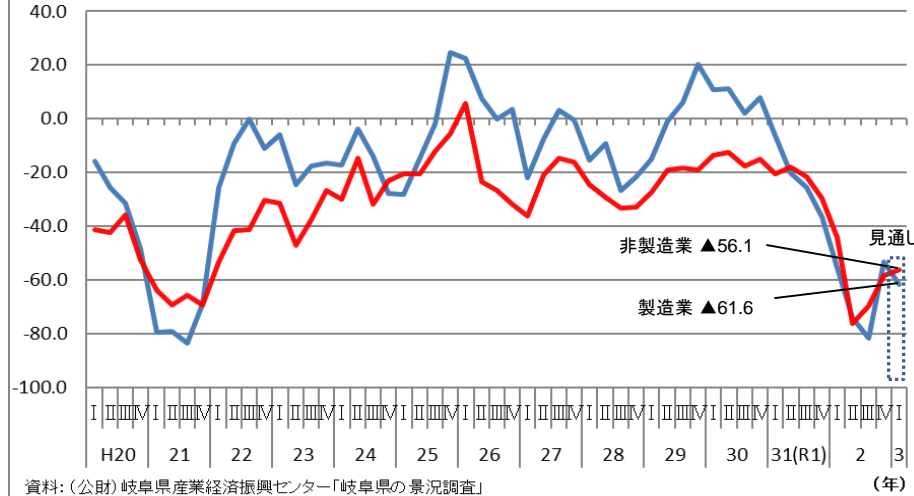
県内企業の景況DI(増加-減少)の推移



岐阜県及び全国の中小企業の前年同月比景況感DI(好転-悪化)の推移



県内企業の売上高DI(増加-減少)の推移



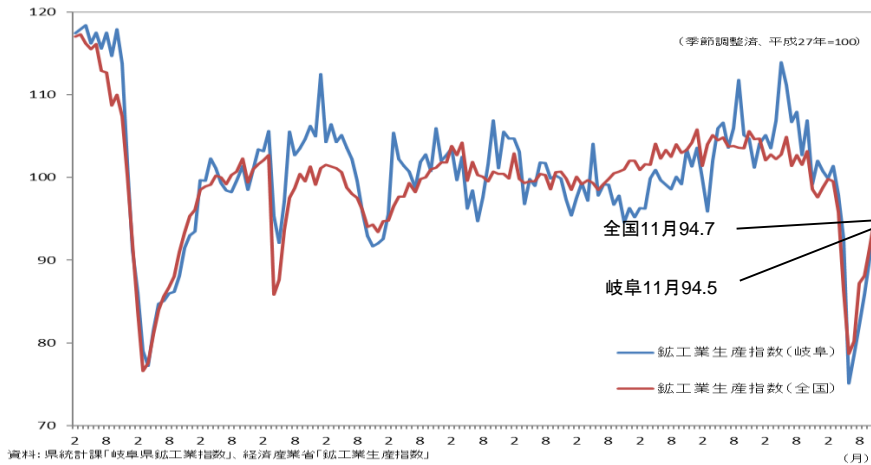
# 製造業

○11月の鉱工業生産指数(季節調整済)は、94.5で前月比0.0%と横ばい。

○主な産業の前月比では、化学工業、輸送機械、はん用を除き、上昇した。

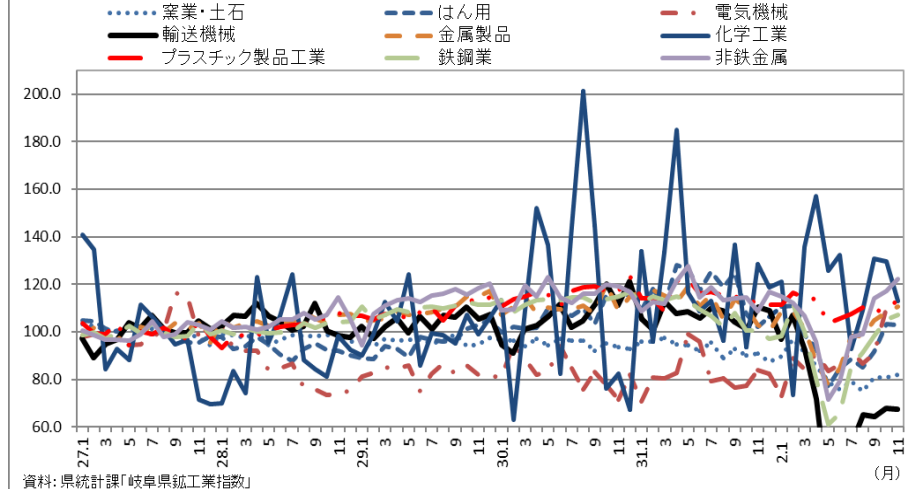
○11月の主な産業の指数は、化学工業で前月比▲12.8%、輸送機械で同▲0.6%、はん用で同▲0.5%と低下したが、非金属で同4.5%、金属製品で同2.3%となるなど、他の産業は上昇した。

鉱工業生産指数の推移



主な産業の鉱工業生産指数

(季節調整済、平成22年=100)



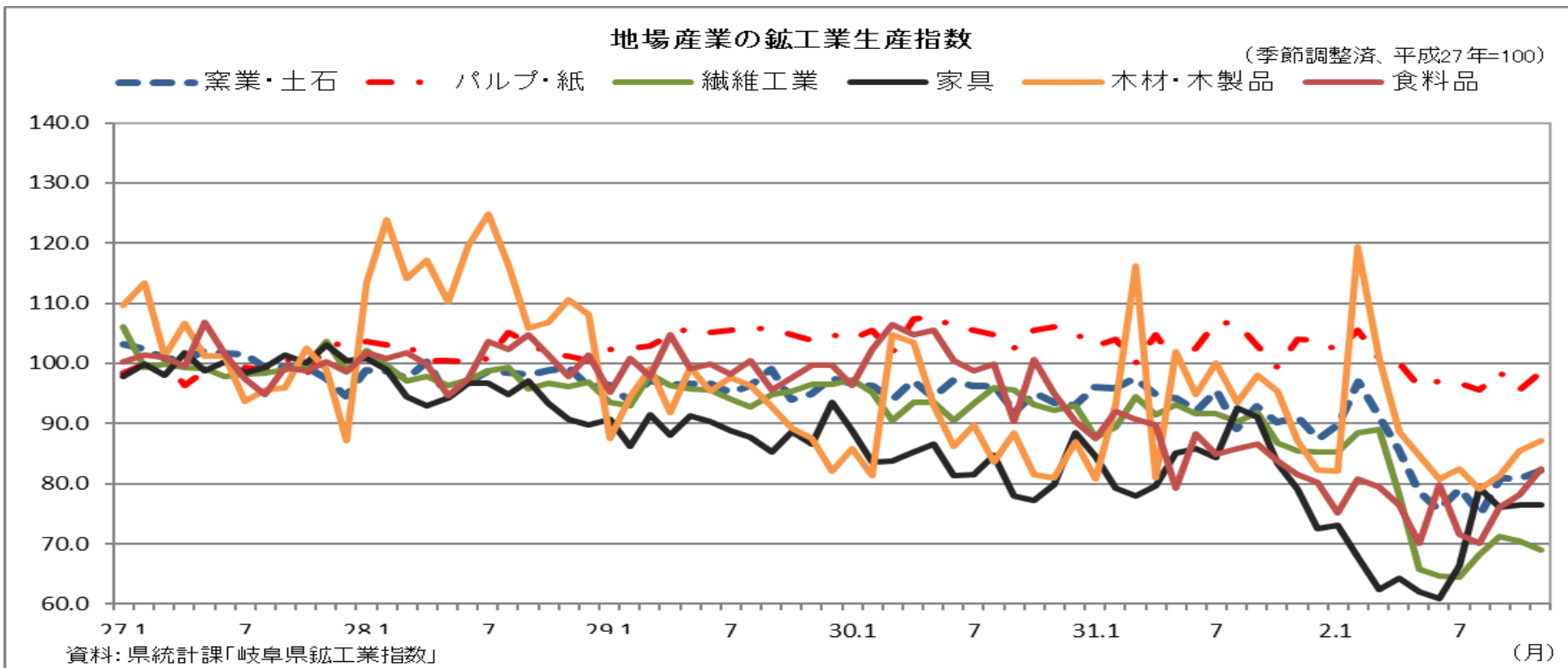
## 現場の動き

(※新型コロナウイルス関連はP6にも掲載)

- ◆ 自動車製品製造は通常通りの動きであるが、航空部品製造は3割～4割減となっている。(輸送用機械)
- ◆ 飛行機部品製造の落ち込みが大きい。(輸送用機械)
- ◆ テレワーク関連の電子機器やプリンターなどは引き続き需要がある。(電気機械)
- ◆ 電子材料関係は引き続き堅調であるに加え、自動車関連についても需要が戻ってきたが、電子部品不足による生産調整が懸念される。(輸送用機械)
- ◆ 世界的な半導体不足と令和2年10月にあった半導体工場の火災が重なり、一部の取引先の受注量が減っている。(輸送用機械)
- ◆ 自動車メーカーが半導体の不足で減産に入っており、今後その影響が懸念される。(生産用機械)

## 製造業-2

○11月の地場産業(刃物を除く)の鉱工業生産指数は、繊維工業で前月比▲2.1%と低下したものの、食料品で同5.6%、パルプ・紙で同3.2%、木材・木製品で同2.0%、窯業・土石で同1.5%、家具で同0.1%と上昇した。



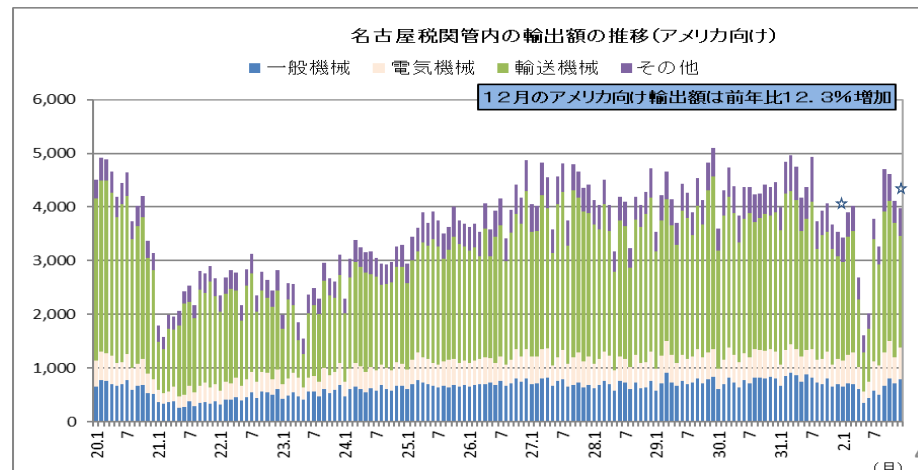
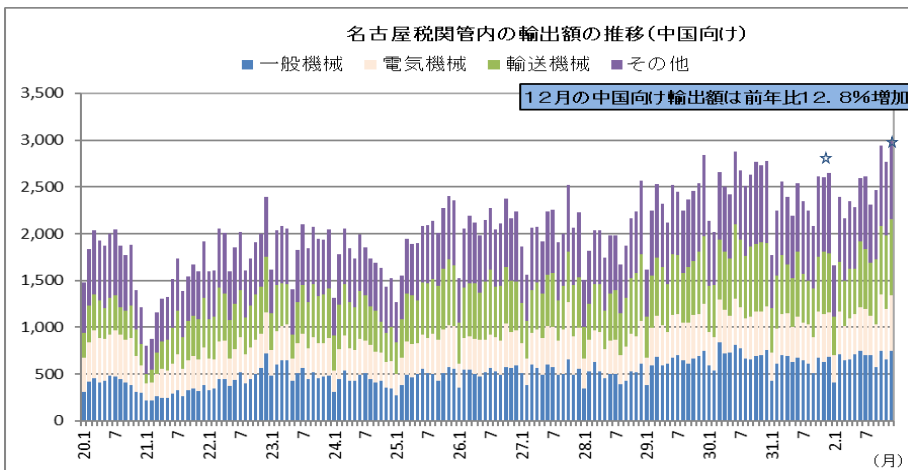
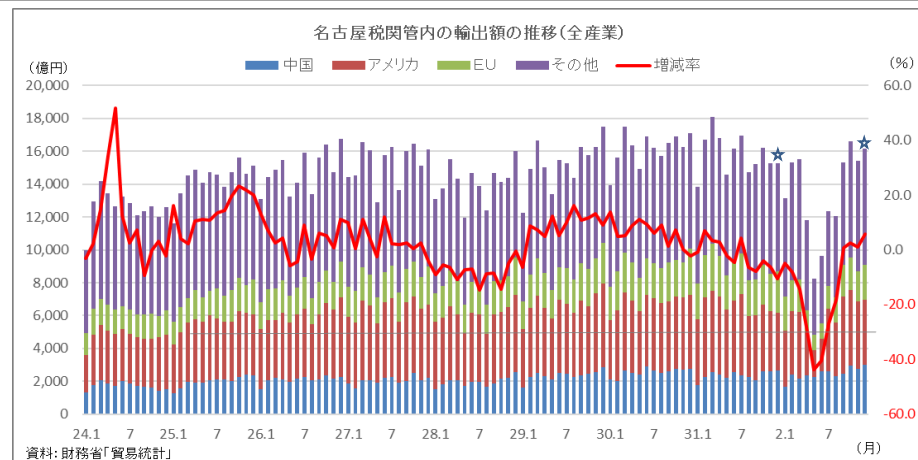
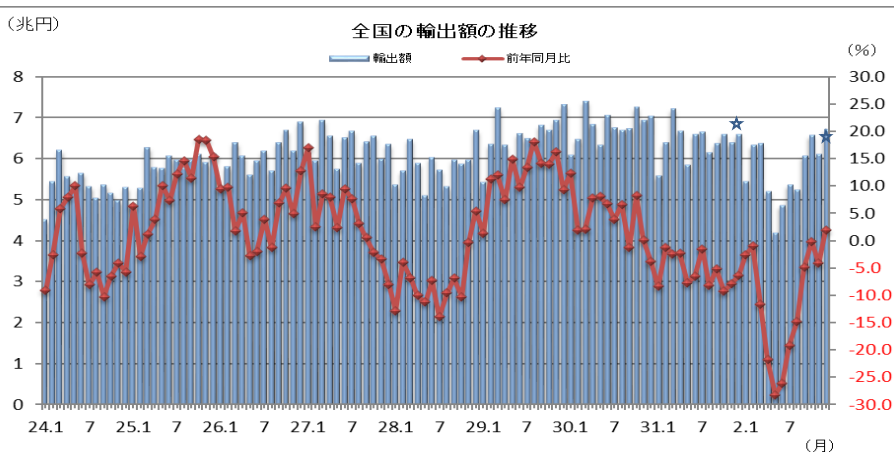
### 現場の動き

(※新型コロナウイルス関連はP6にも掲載)

- ◆ ECサイトを持っている大手はそれなりに売上げがあるが、店舗販売は厳しい。(繊維工業)
- ◆ 学生服や官公庁の制服は従来どおりだが、ファッションやビジネススーツ関係は新型コロナウイルス感染症の影響によりかなり厳しい。(繊維工業)
- ◆ 売上全体に占める割合は低いですが、ネット販売が好調。オンラインショップのウェブサイトを改修した。(窯業)

# 輸 出(名古屋税関管内)

- 12月の輸出額(全国)は、6兆7,061億円で前年同月比2.0%と25ヶ月ぶりに前年同月を上回った。
- 12月の輸出額(名古屋税関内)は、1兆6,160億円で前年同月比5.7%と増加し、4ヶ月連続で前年同月を上回った。
- 中国向けは、全体で前年同月比12.8%増加した。その内、輸送用機器で前年同月比28.7%、電気機器で同25.7%、一般機械で同月9.4%増加した。
- アメリカ向けは、全体で前年同月比で12.3%と増加し、4ヶ月連続で前年を上回った。その内、電気機器で前年同月比22.3%、一般機械で同13.9%、輸送用機器で同11.0%増加した。

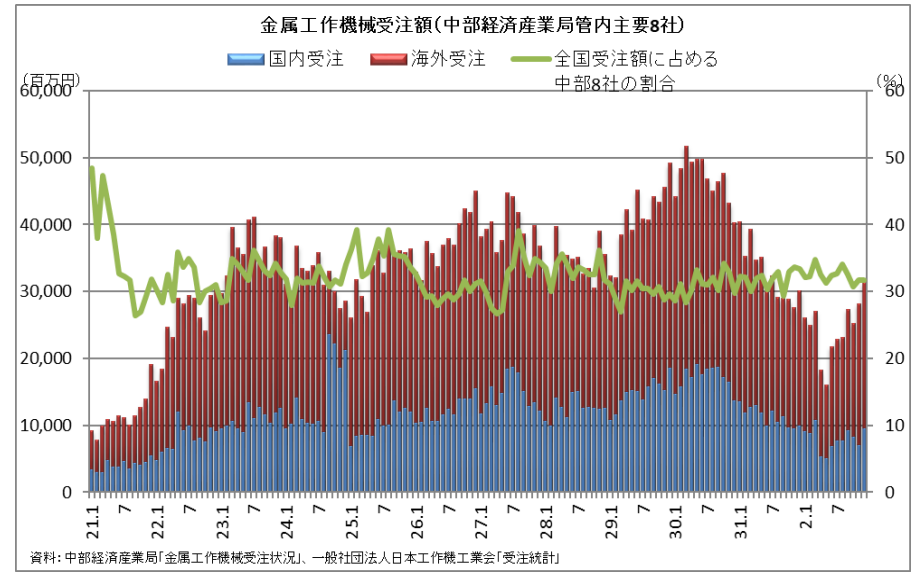
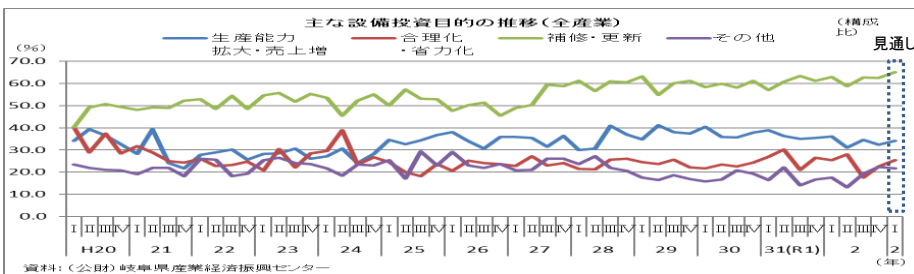
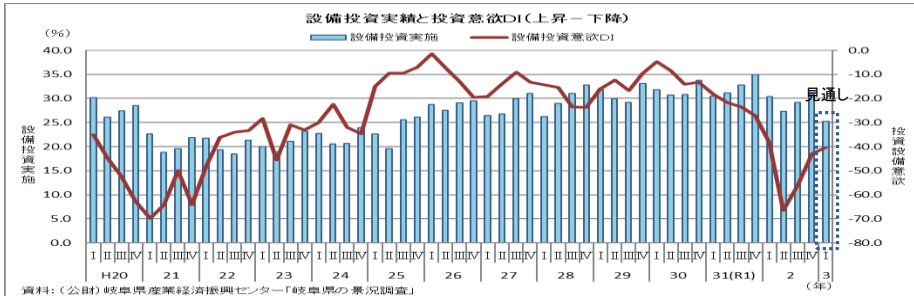


資料: 財務省「貿易統計」

# 設備投資

○1-3月期見通しの設備投資実施DIは前期比▲5.7ポイント低下、設備投資意欲DIは同2.6ポイント上昇。設備投資実施DIの目的別では、「合理化・省力化」で前期比3.0ポイント、「補修・更新」で、同2.5ポイント、「生産能力拡大・売上増」で同1.8ポイント上昇した。

○12月の金属工作機械受注額は、全体では前年同月比4.4%と2ヶ月連続で前年を上回った。内訳は国内受注では同▲3.5%と25ヶ月連続で前年を下回ったものの、海外向けは同8.4%と2ヶ月連続で前年を上回った。



## 現場の動き

(※新型コロナウイルス関連はP6にも掲載)

- ◆ 工場を新設予定である。国のサプライチェーン補助金の活用を予定している。(輸送用機械)
- ◆ 工場にIT設備を導入し、現在試行中である。(窯業)
- ◆ 老朽化した機械を廃棄し、国の補助金を活用して新たな設備を導入する予定である。(窯業)
- ◆ 設備の故障に伴う入替は行う。それ以外は、先行きが不安定なため見送る予定であるが、国の補助金が活用できるようなら設備投資に充てたい。(刃物)
- ◆ 各種補助金等が準備されていることや新型コロナウイルス感染症対応関連の融資で企業の負債が増加していることなどから、設備投資に際し、補助金の活用を想定する設備案件が多い印象である。(金融)

## 製造業関係における新型コロナウイルスの影響について

- ◆ 緊急事態宣言を受け、各部署で在宅勤務を推進している。県外出張も承認制に変更し、来訪者も原則禁止としている。(輸送用機械)
- ◆ 国内向け製品の製造が少ないため、緊急事態宣言の影響はほとんど受けていない。(輸送用機械)
- ◆ 緊急事態宣言後も特段変化はないが、営業の行き来は少なくなっている。(輸送用機械)
- ◆ 緊急事態宣言の影響は、現在のところ受けていない。(電気機器)
- ◆ 緊急事態宣言の影響は特にない。(食品製造)
- ◆ 緊急事態宣言後は営業活動は少なくなっている。(生産用機械)
- ◆ 国内工場の稼働率は7～8割程度、海外工場は通常どおり稼働している。(輸送用機械)
- ◆ 海外輸出製品の受注が増加しており、全体的にはやや前年を上回る傾向で推移している。(食品製造)
- ◆ コロナ禍における健康志向の高まりを追い風に、プライベートブランド市場に参入した。(食品製造)
- ◆ 秋口から年明けにかけて、中国向けの増産傾向が続いている。(輸送用機械)
- ◆ 中国に牽引され引き続き好調である。(輸送用機械)
- ◆ 工場の稼働率は、8割程度である。自動車機械関係は良いが、それ以外の動きは良くなっていない。(生産用機械)
- ◆ 中国向けが好調。時間外労働を増やして対応している。その一方で、海外向けの一部では、半導体不足の影響が現れ始めている。(プラスチック製品製造)
- ◆ 業務用の陶磁器の需要が大幅に減少している。(窯業)
- ◆ 新型コロナウイルス感染症の影響で昨年度と比較すると売上は4～5割ほど減少している。(繊維工業)
- ◆ 通常の仕事が無い分、新型コロナウイルスの防護服製造の仕事を請け負っている。(繊維工業)
- ◆ 新型コロナウイルス感染症の影響で家庭用の包丁等の売れ行きが良いと思われる。(刃物)
- ◆ 1～3月に開催予定だった海外見本市がすべて中止となり、販路開拓に影響が出ている。(刃物)
- ◆ 10月までは回復傾向にあったが、11月半ばから再び悪化し、1月は前年同月比で5割程度の減少となっている。(紙)
- ◆ 前年同時期と比較して、売上等は3割程度減っている。新型コロナウイルス感染症の影響により、建物の建築の動きが悪いからと考えている。(木工)
- ◆ 小ロットで高い精度に対応できる企業は、コロナ禍であっても、収益性を維持している。(金融)

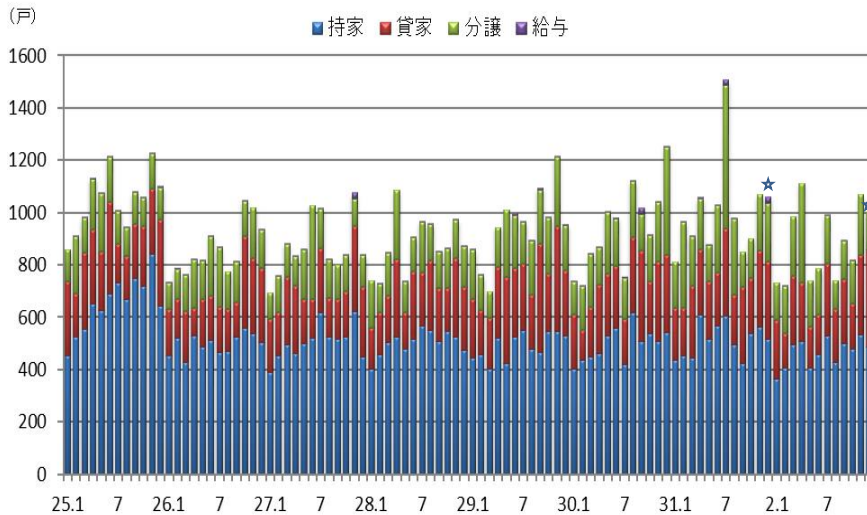
# 住宅・建築投資

○12月の住宅着工戸数は、前年同月比▲5.5%と低下した。

○貸家で前年同月比25.8%増加したものの、分譲で同▲34.4%、持家で同▲6.4%と低下した。

○10-12月期の非居住用の建築着工床面積は、鉱工業用で前年同期比▲51.3%、サービス業用同▲50.2%、商業用で同▲19.3%と低下し、全体としては同▲45.2%と低下した。

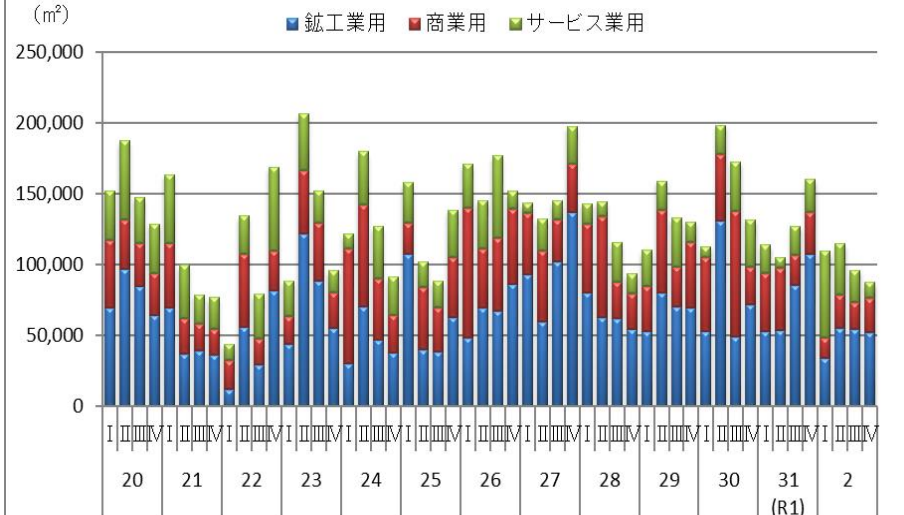
新設住宅着工戸数の推移



資料：県建築指導課「岐阜県建築着工統計」

(月)

県内建築着工床面積(非居住用・用途別抜粋)



資料：県建築指導課「岐阜県建築着工統計」

(年)

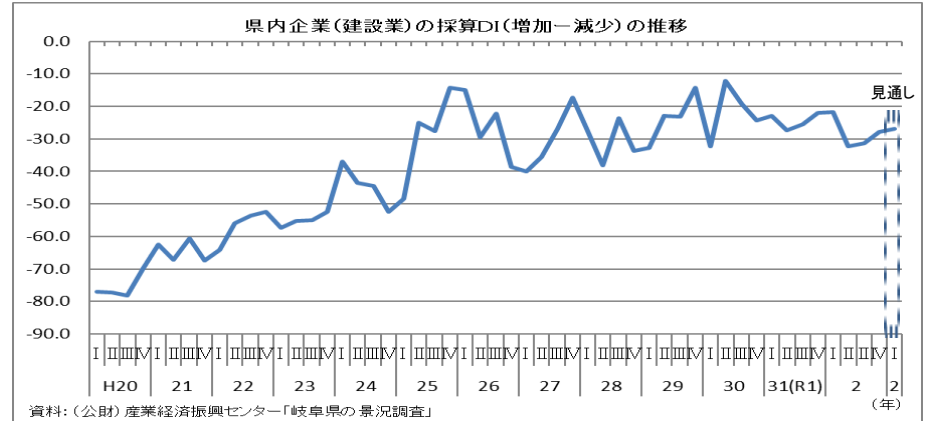
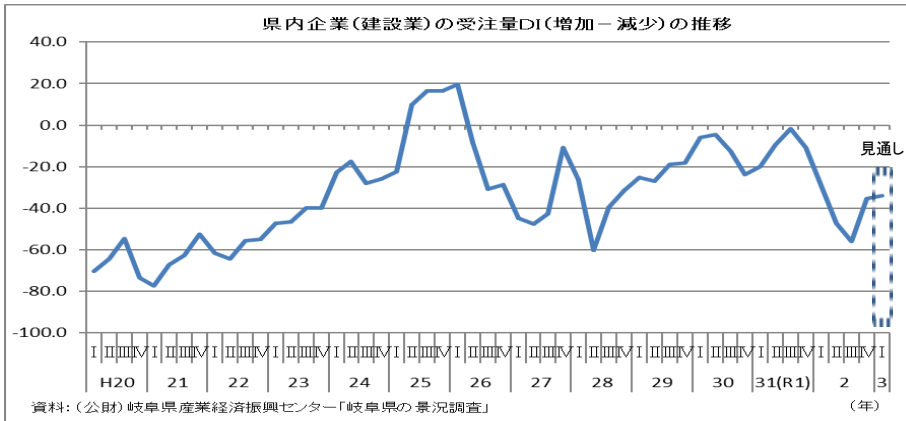
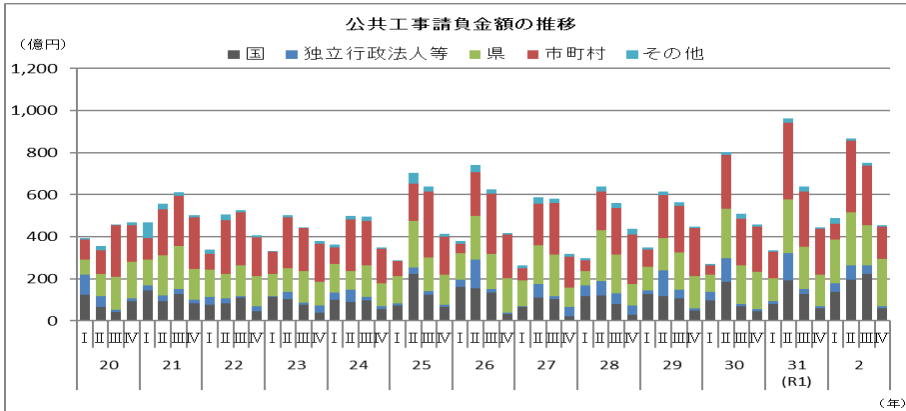
## 現場の動き

- ◆ 新型コロナウイルス感染症による業績への影響はあまりないが、今後の状況を懸念している。(木材加工)
- ◆ 前年同月と比較するとホームページからの予約は約1.8倍に増えている。住宅需要があることは間違いない。(住宅建築)
- ◆ 最近、外国産材の価格が値上がりしている。今後、日本に安定供給できるかわからない。国産材へのシフトの動きがあるかもしれない(木材加工)
- ◆ 積雪などにより出材が少なく、材が不足している。(組合)



# 公共工事

- 10-12月期の発注者別の公共工事請負金額は、市町村で前年同期比▲30.7%と減少したものの、県で同49.8%、独立行政法人等で同18.6%と増加するなど、全体で同2.1%増加した。
- 県内建設業の1-3月期見通しの受注量DIは前期比1.5ポイントと上昇、同採算DIも同1.0ポイントと上昇した。



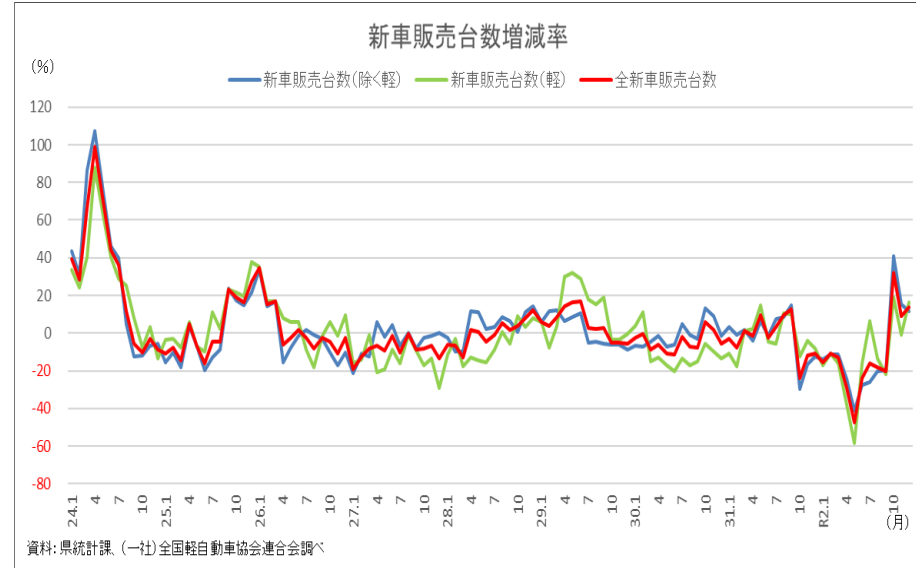
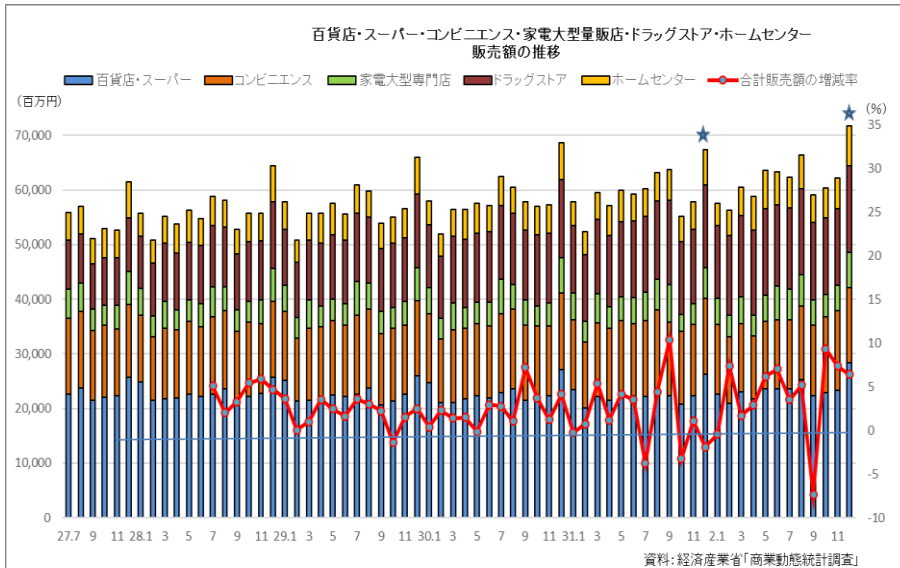
## 現場の動き

- ◆ 受注量としては満足できる状況が続いている。国の工事については、補正予算の案件が集中的に発注されており、案件の選別に追われている。
- ◆ ICTの活用により、一人当たりの作業効率が上がっているように感じる。(以上、建設)

# 個人消費(流通・小売)

○12月はコンビニで前年同月比▲0.6%と低下したものの、家電大型専門店と同15.9%、ホームセンターで同11.5%、百貨店・スーパーで同8.1%、ドラッグストアで同4.1%と増加し、全体では同6.4%と増加した。

○12月の新車販売台数(除く軽)は、前年同月比11.9%と3ヶ月連続で前年同月を上回り、軽自動車も同16.3%と前年同月を上回った。  
○合算では同13.5%と、3ヶ月連続で前年同月を上回った。

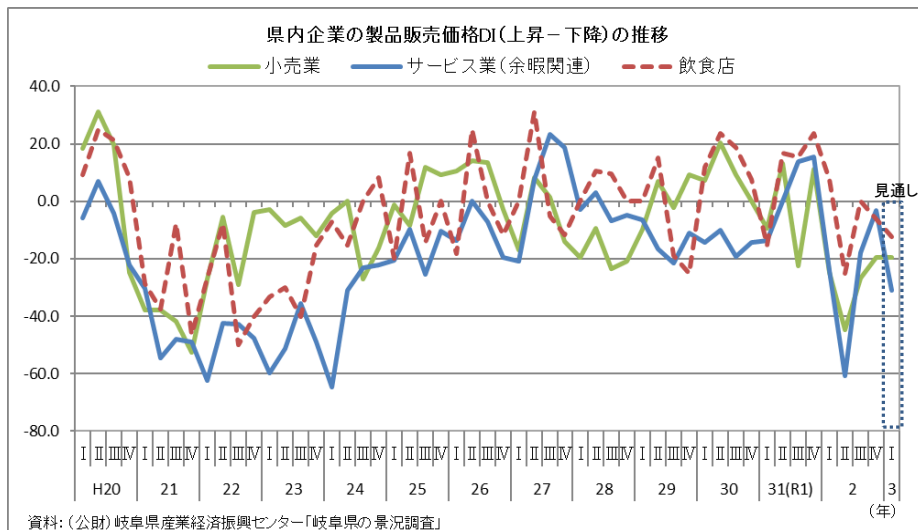
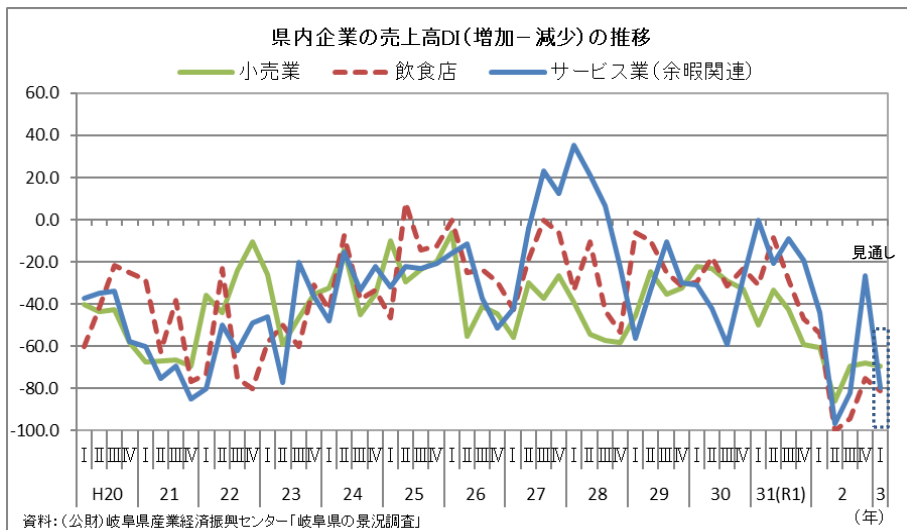


## 現場の動き

- ◆ 大晦日からの大雪の影響で正月三が日の来客が少なかったのと、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、来客は落ち込んだ。3密を避けるため、初売りや福袋は、数日に分けて販売したが、来客が少なくなるので店舗としては厳しい。(岐阜市内大型商業施設)
- ◆ 売上は増加しているが、来客は減少している。特に、緊急事態宣言後は午後8時を過ぎるとガタッと客足が落ちるようになった。(岐阜市内大型スーパー)
- ◆ 今後も冬物の商品等は順調と考えられるが、新型コロナウイルス感染症の影響が深刻化しそうであるため、先行きは不透明である。(大型スポーツ用品店)

## 個人消費(流通・小売)－2

- 1－3月期見通しの売上高DIは、サービス業(余暇関連)で前期比▲52.7ポイント、飲食店で同▲6.2ポイント、小売業で同▲1.4ポイントと低下した。
- 同じく販売価格DIは、小売業で前期比0.0ポイントと横ばい、サービス業(余暇関連)で前期比▲27.8ポイント、飲食店で同▲6.3ポイントと低下した。



### 現場の動き

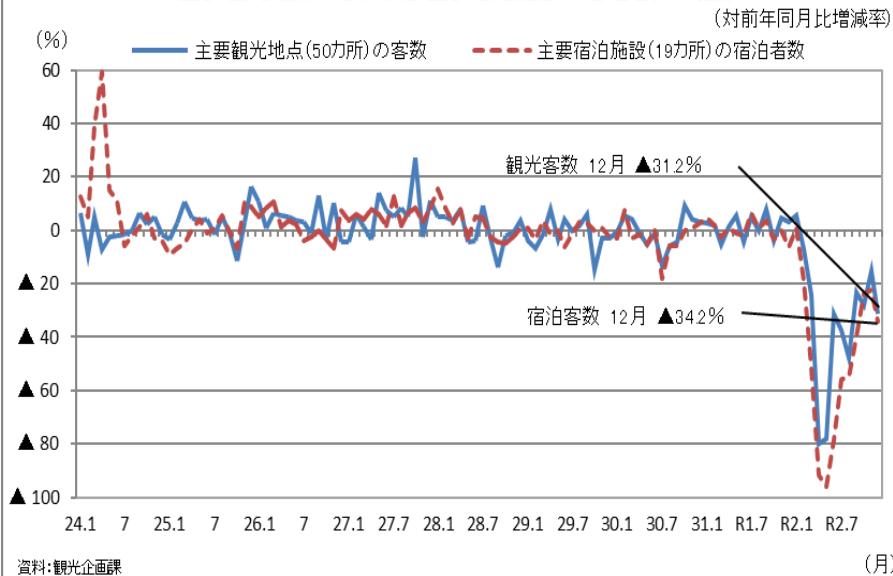
- ◆ 緊急事態宣言後、商店街のイベントはほとんど中止になった。
- ◆ 緊急事態宣言後は、商店街の人通りが更に減少し、来店客数も激減している。来店客も新しい服を買っても、外出機会がないため購買意欲がないとのことであった。また、客層が中高年であるため、ネット販売も期待できない。(以上、柳ヶ瀬商店街)
- ◆ 商店街でイルミネーションの装飾を実施したが、自粛モードで見学客はまばらであった。
- ◆ 日用品・雑貨店の売上は前年同月比▲10%。雪かき関連商品が多少売れている。和菓子店の売上げは同▲29%、繁忙期である年始は新型コロナウイルス感染症の影響で年賀の需要が激減した。その後も緊急事態宣言により、客数が減り、売上が減少した。(以上、大垣市商店街)
- ◆ 酒店の売上は、前年同月比で▲40%。緊急事態宣言以降、飲食店の営業時間短縮等の影響を受け、1月に入ってから大幅に落ち込んだ。店独自のイベントも中止しており、厳しい状況が続いている。(多治見市商店街)

# 観光

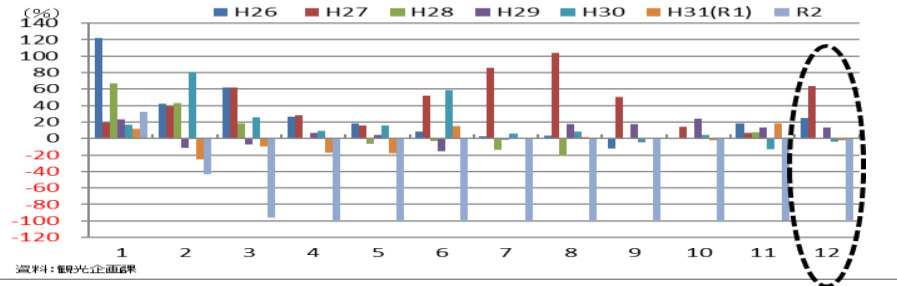
○主要観光地における12月の観光客数は、前年同月比▲31.2%と減少し、11ヶ月連続で前年同月を下回った。主要宿泊施設における宿泊者数は、前年同期と比較して▲34.2%と減少し、11ヶ月連続で前年同月を下回った。

○12月の主要観光施設における外国人宿泊者数は、前年同月比の増減率では99.9%減と11ヶ月連続で前年同月を下回った。

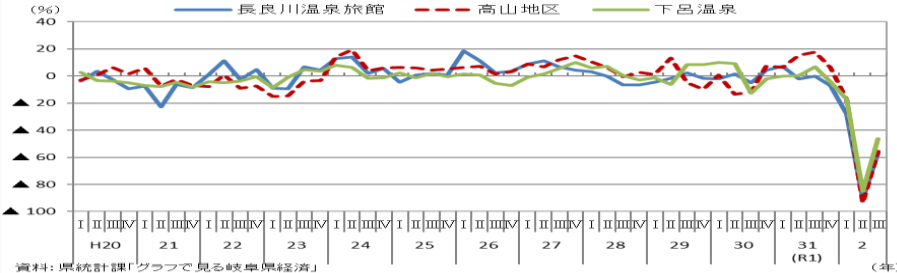
主要観光地点の客数及び主要宿泊施設の宿泊者数の推移



主要宿泊施設 外国人宿泊客増減率(対前年比推移)



主要観光地 観光宿泊客数の推移

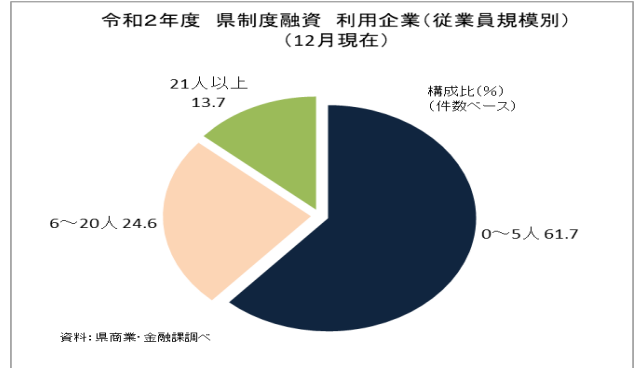
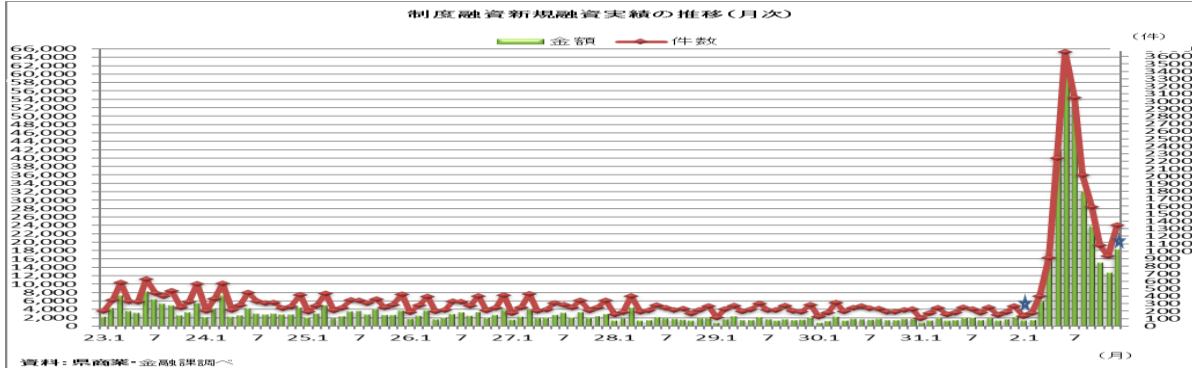
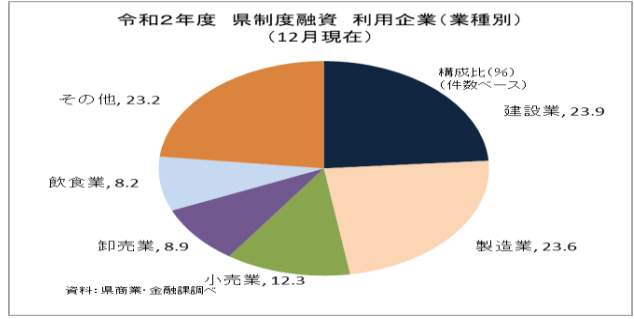
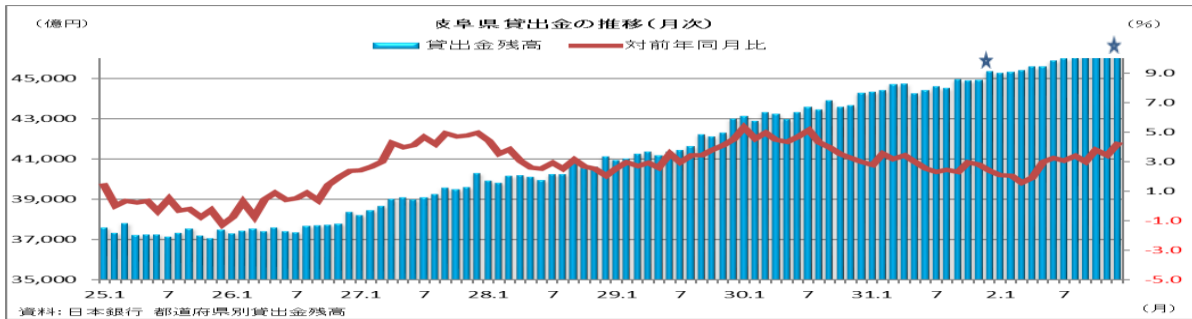


## 現場の動き

- ◆ GoToトラベルの一時停止と緊急事態宣言の再発令により前年比で1月は2割、2月は皆減と予想している。(岐阜市内の宿泊施設)
- ◆ コロナ禍で延期・中止となった宴会や会議に係る営業を強化する。(岐阜市内の宿泊施設)
- ◆ 2月は全日休館を予定している。(高山市内の宿泊施設)
- ◆ 旅行に対する底冷え感がぬぐえない。(高山市内の宿泊施設)
- ◆ 平日の予約状況は9割減。(奥飛騨の宿泊施設)
- ◆ 1、2月とも予約は散々。週末も満室にならず、平日は8割減である。(下呂市内の宿泊施設)
- ◆ 雇用調整助成金の特例措置がなくなり次第、リストラを考えなければならないと思う。(奥飛騨の宿泊施設)

# 資金繰り

○12月の岐阜県貸出金残高は、4兆7,241億円で前年同月比4.2%とプラス基調が続く。  
 ○12月の制度融資実績は、金額が18,297百万円で前年同月比832.0%と増加した。  
 件数は1,346件で同507.9%と増加した。  
 ○従業員規模別は、5人以下の事業所が全体の61.7%を占めている。

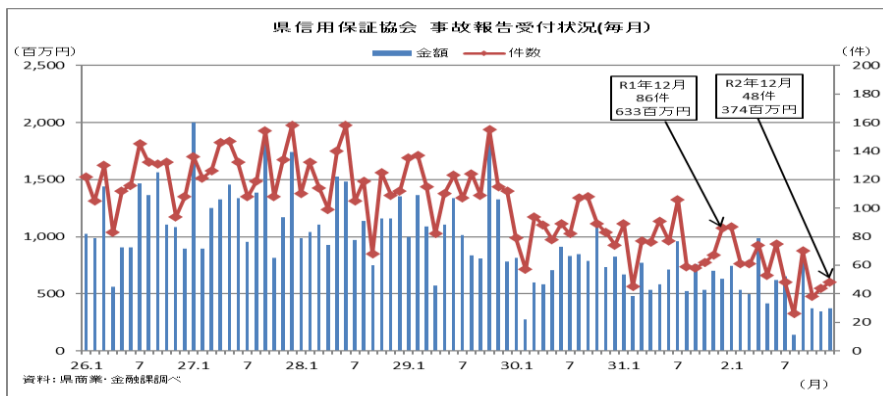
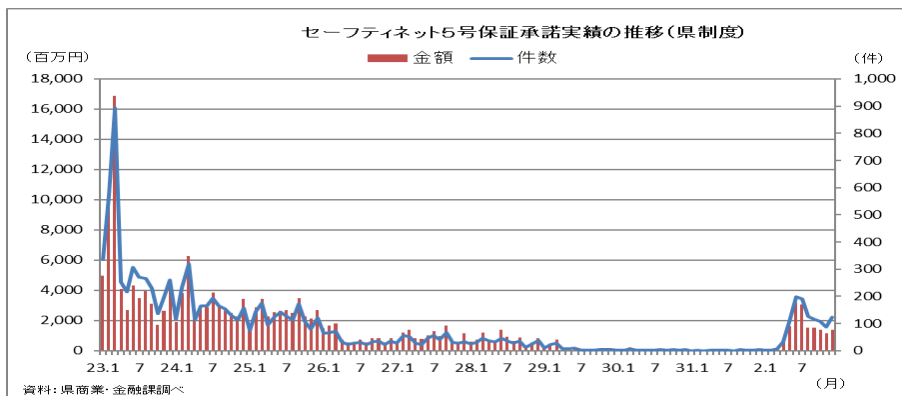
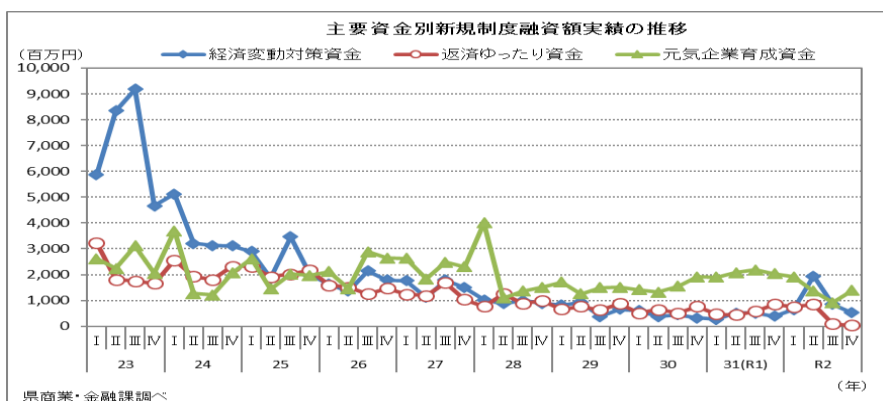
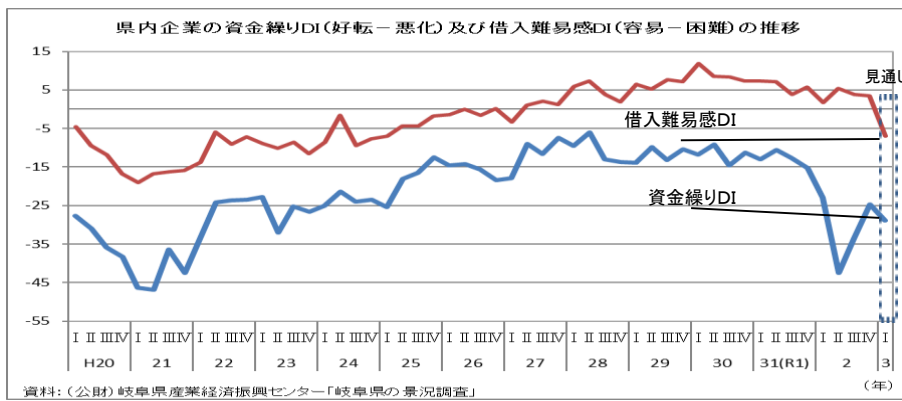


## 現場の動き

- ◆ 新型コロナウイルス感染症の第3波や緊急事態宣言を受けての融資申込みはほとんどない。実質無利子・無担保融資の利用状況も落ち着いている。
- ◆ 先行きが不透明なため、手元資金を厚くする事業者など、実質無利子・無担保融資の上限額の引上げの需要はあると考える。
- ◆ 観光や飲食業などのサービス業は厳しいが、製造業などは回復してきており、影響が二極化している印象である。(以上、金融)

# 資金繰り-2

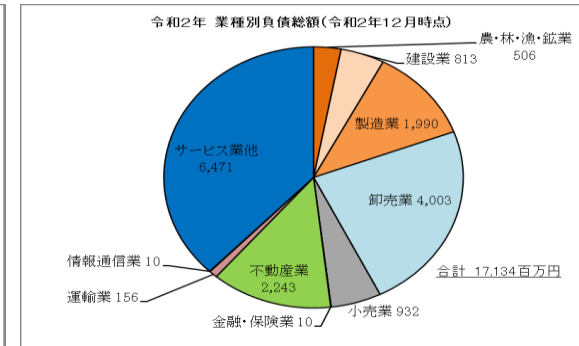
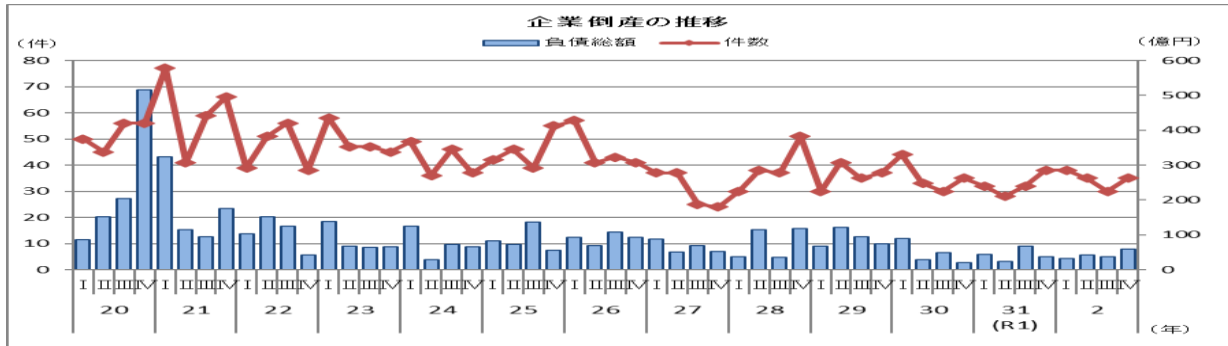
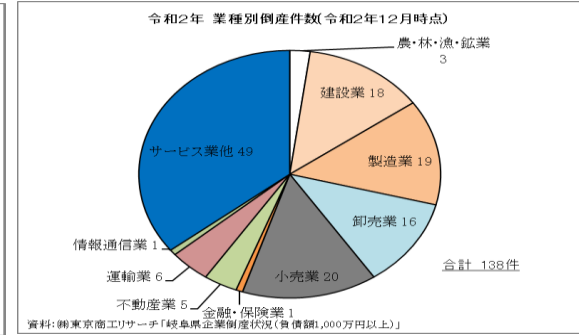
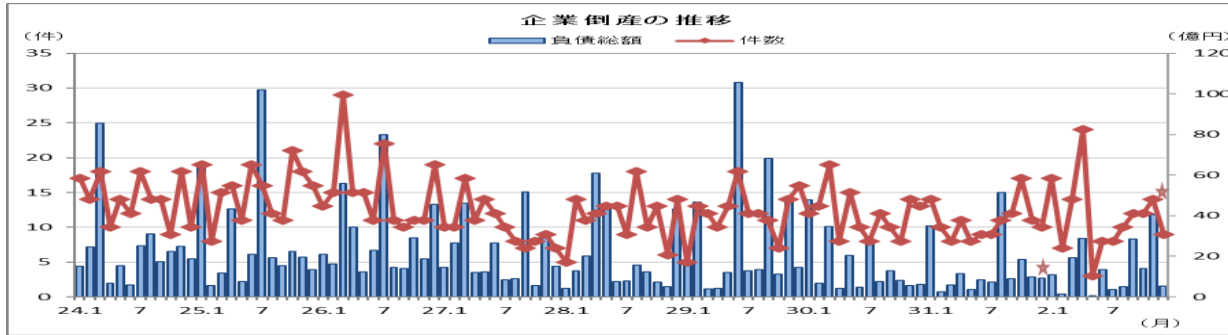
- 1-3月期見通しの資金繰りDIは▲28.9で、前期比▲4.3ポイントと低下した。同借入難易感DIは▲6.9%で、同▲10.4ポイント低下した。
- 10-12月期の主要資金別新規制度融資実績は、経済変動対策資金で前年同期比37.4%と7期連続で増加、返済ゆったり資金で同▲95.7%と2期連続で減少、元気企業育成資金も同▲31.6%と3期連続で減少となった。
- 12月のセーフティネット5号保証承諾実績は、件数が123件で前年同月比119件増加、金額は1,398百万円で同1,277百万円増加した。
- 12月の事故報告(保証協会付融資3ヶ月以上延滞)状況は、件数は48件で前年同月比▲44.2%と減少し、金額も374百万円で同▲41.0%と減少した。



# 倒産

○12月単月の倒産件数は前月比5件減の9件、負債総額は前月比3,504百万円減少の541百万円となった。

○1月から12月までの累計倒産件数は138件となり、前年同期の130件から8件増加。累計負債総額は17,134百万円となり、前年同期の17,196百万円から62百万円減少で推移した。



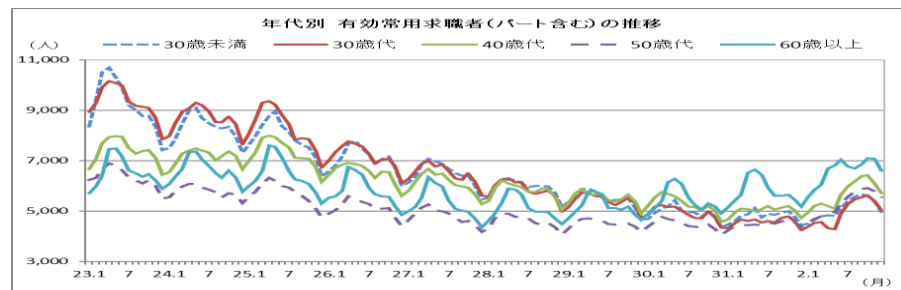
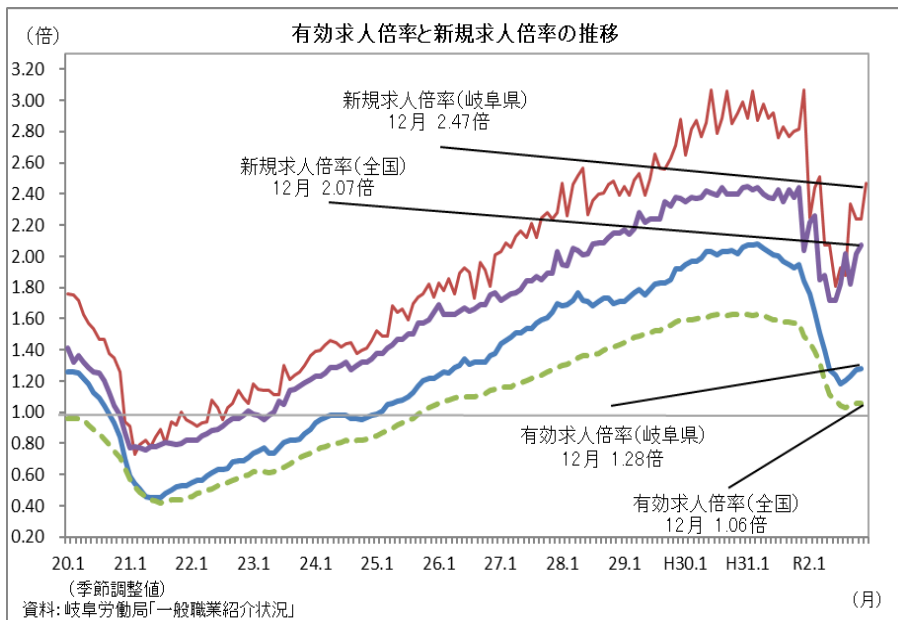
## 専門機関の分析(東京商工リサーチ)

- ◆ 1都3県で始まった緊急事態宣言の再発令から10日以上が過ぎ(1/21時点)、この間、対象地域は11都府県に拡大した。岐阜県では1月9日に県独自の非常事態宣言を発令、1月13日に緊急事態宣言の対象地域となった。飲食店の時短営業が続き、不要不急の外出自粛要請で個人消費の停滞が広がり、仕入業者などを含めた関連業界への深刻な影響が懸念される。

# 雇用

- 12月の有効求人倍率は1.28倍と、前月比0.01ポイントと4ヶ月連続で上昇。
- 12月の新規求人倍率は、2.47倍と同0.23ポイント上昇した。

- 12月の雇用保険受給者人員は、前月比▲7.8%と減少した。
- 年代別有効常用求職者は、7ヶ月連続で前年同月比で増加した。



## 現場の動き

- ◆ 人材の過不足感が部署により異なるため、部署間での異動を行っている。(輸送用機械)
- ◆ 引き続き仕事量は順調にあり、社員の残業、休日出勤も実施している。(輸送用機械)
- ◆ 人材の過不足感は特に感じていない。(生産用機械)
- ◆ 人材不足となっている。新卒、中途、派遣社員いずれも集まりにくい状況。(プラスチック製品製造)
- ◆ 人材の余剰感があり、最近では求人を出していない。(繊維工業)
- ◆ 年に数回、中途採用の募集を行っており、若者からの応募があった場合は積極的に採用している。(窯業)
- ◆ 工場の稼働率を減らしているため、人材過剰の状態となっている。(食品製造)
- ◆ 人手不足、若年層の労働者不足に変わりはなく、高齢化も進行している。(建設業)



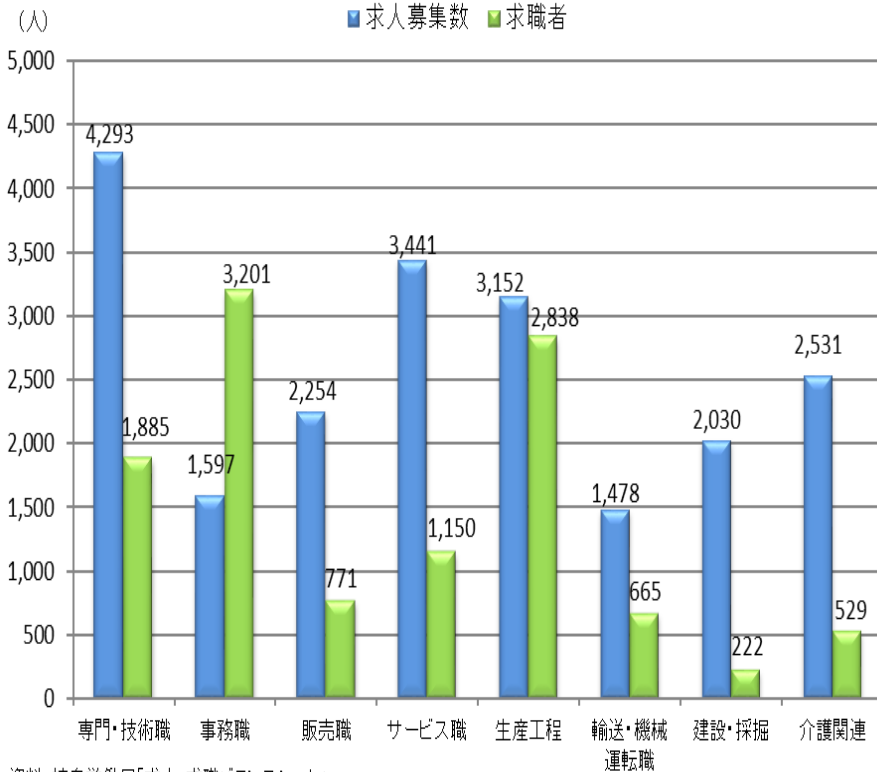
# 雇 用(職業別)

○有効求人倍率は、建設・採掘で9.14倍、介護関連で4.78倍、サービス職で2.99倍、販売職で2.92倍など、引き続き人手不足の状況は続いている。

○一方で、事務職の有効求人倍率は0.50倍に留まり、求職者のニーズと、求人側のニーズのミスマッチが続いている。

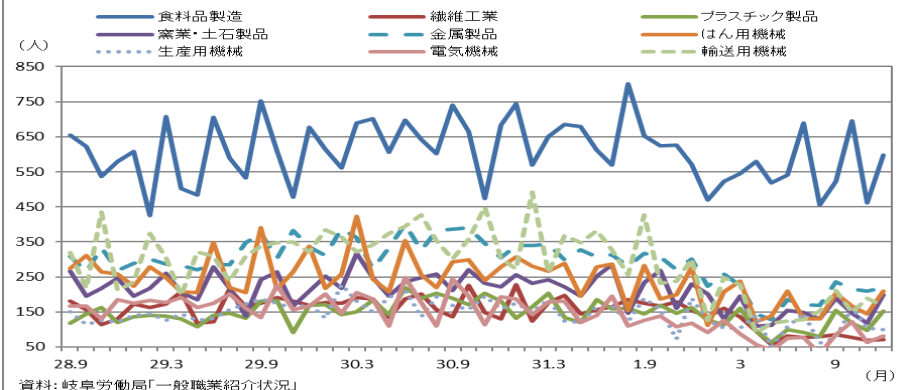
○11月の主要産業別の新規求人数は、食品製造で前年同月比4.4%と増加したものの、繊維工業で同▲54.2%、生産用機械で同▲47.6%、輸送用機械で同▲44.5%、電気機械で同▲29.9%、金属製品で同▲26.9%、はん用機械で同▲24.2%、窯業・土石製品で同▲13.0%となるなど、多くの産業で減少した。

12月 職業別有効求人募集数・有効求職者数(常用的フルタイム)

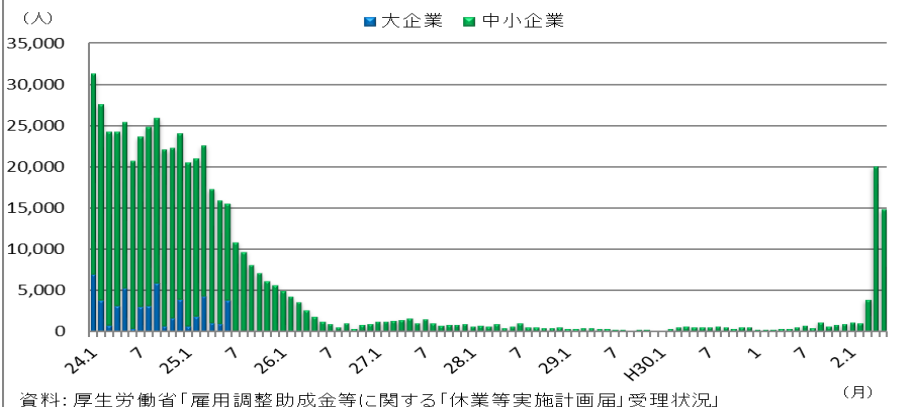


資料: 岐阜労働局「求人・求職バランスシート」

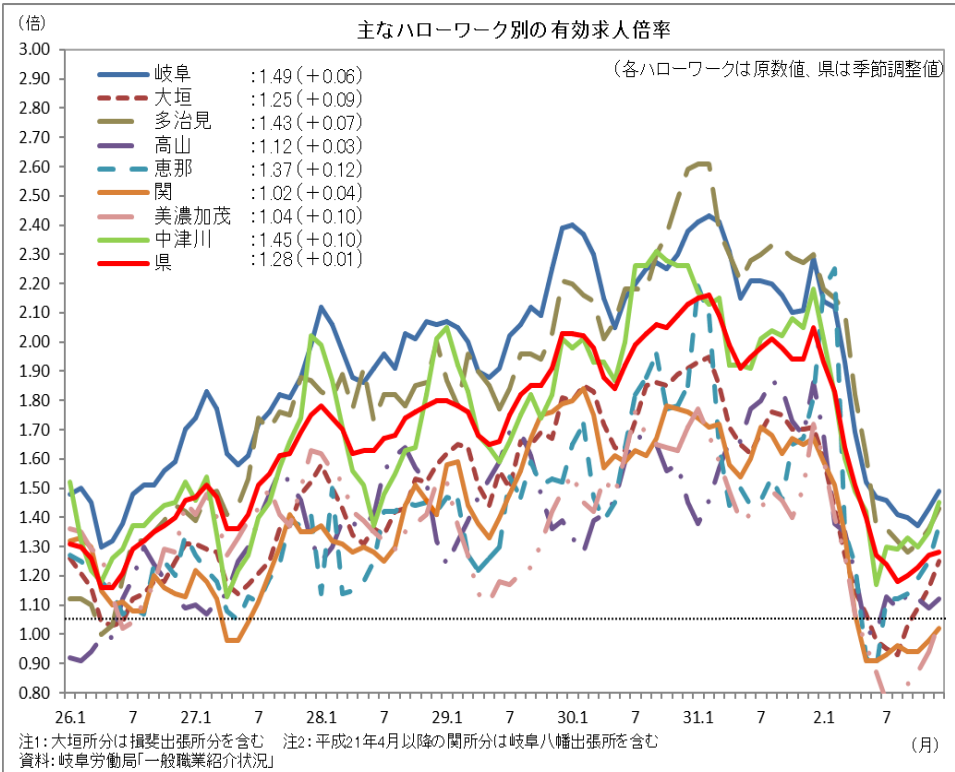
主要産業別 新規求人数(一般+パート)推移



雇用調整助成金の申請状況



# 雇用(地域別)



○1月の主なハローワーク別の有効求人倍率は、全てで上昇し、1倍を超えた。

## 現場の動き(前月比)

### <ハローワーク岐阜>

- ◆求人者数は減少、求職者数はやや減少。
- ◆雇用保険受給者数は減少。

### <ハローワーク大垣>

- ◆求人者数、求職者数は横ばい。
- ◆雇用保険受給者数は増加。

### <ハローワーク多治見>

- ◆求人者数、求職者数は増加。
- ◆雇用保険受給者数は横ばい。

### <ハローワーク高山>

- ◆求人者数、求職者数は増加。
- ◆雇用保険受給者数は増加。

### <ハローワーク恵那>

- ◆求人者数、求職者数は減少。
- ◆雇用保険受給者数は減少。

### <ハローワーク関>

- ◆求人者数、求職者数は増加。
- ◆雇用保険受給者数は増加。

### <ハローワーク美濃加茂>

- ◆求人者数はやや減少、求職者数は増加。
- ◆雇用保険受給者数はやや減少。

### <ハローワーク中津川>

- ◆求人者数、求職者数は増加。
- ◆雇用保険受給者数は増加。

### <窓口の様子>※前月比

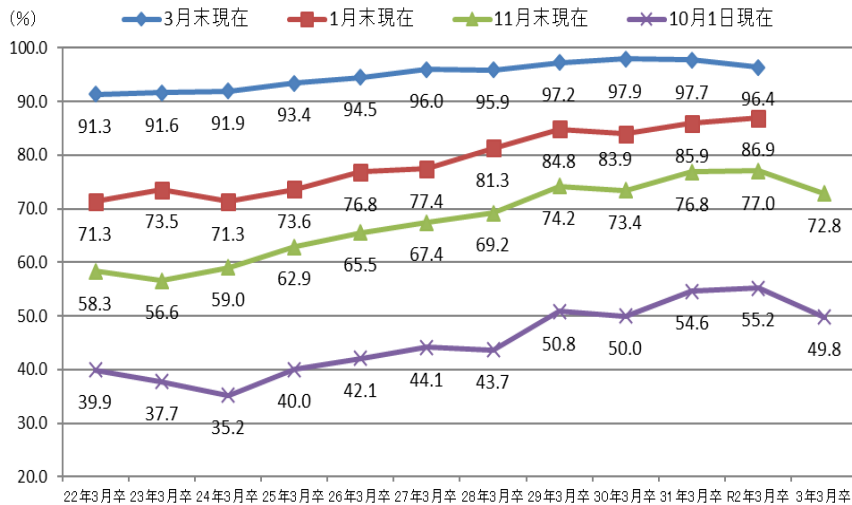
- ◆岐阜、大垣、高山、関、美濃加茂で混雑傾向がみられた。

# 雇用(大学・短大新卒者の就職)

○岐阜県の令和2年11月末時点の大学・短大卒業者(令和3年3月卒業)の就職内定率は、72.8%であり、前年同時点と比べ▲4.2ポイントと低下した。

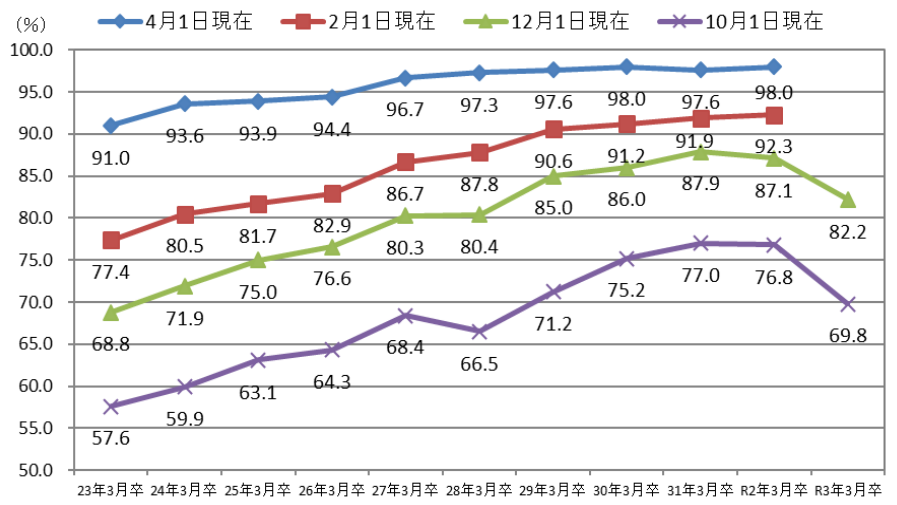
○全国の令和2年12月1日現在の大学卒業生(令和3年3月卒業)内定率は82.2%であり、前年同時点と比べ▲4.9ポイントと低下した。

新規卒業者(大学・短大)の就職内定率の推移<岐阜県>



資料: 岐阜労働局「新規学校卒業生(大学・短大)の就職内定状況」

新規卒業者(大学)の就職内定率の推移<全国>



資料: 厚生労働省「大学等卒業予定者の就職状況調査」

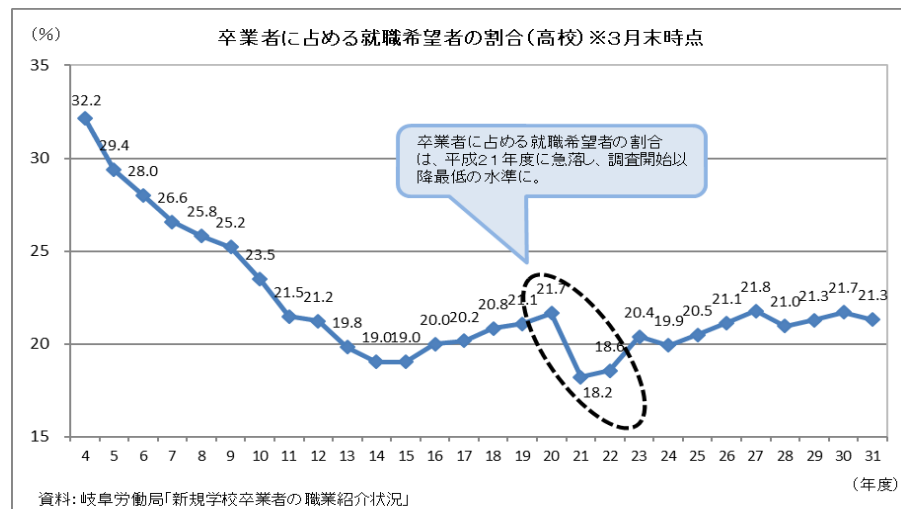
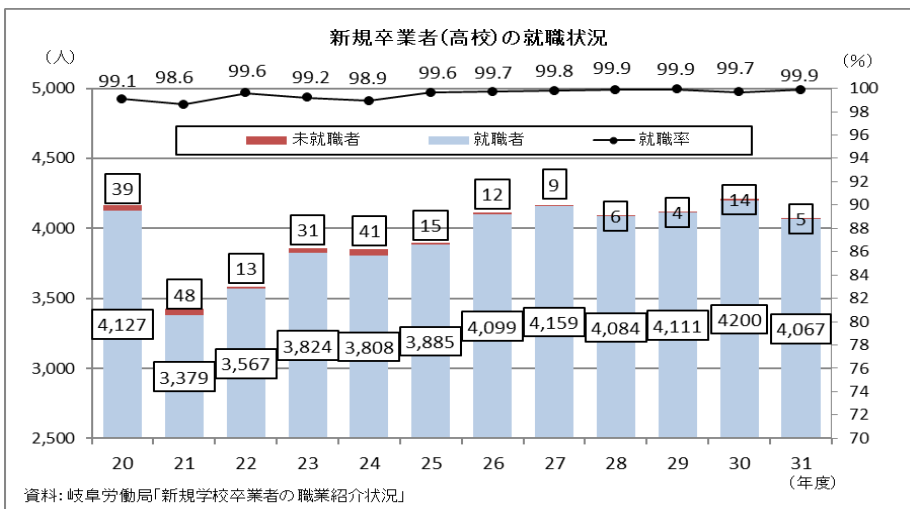
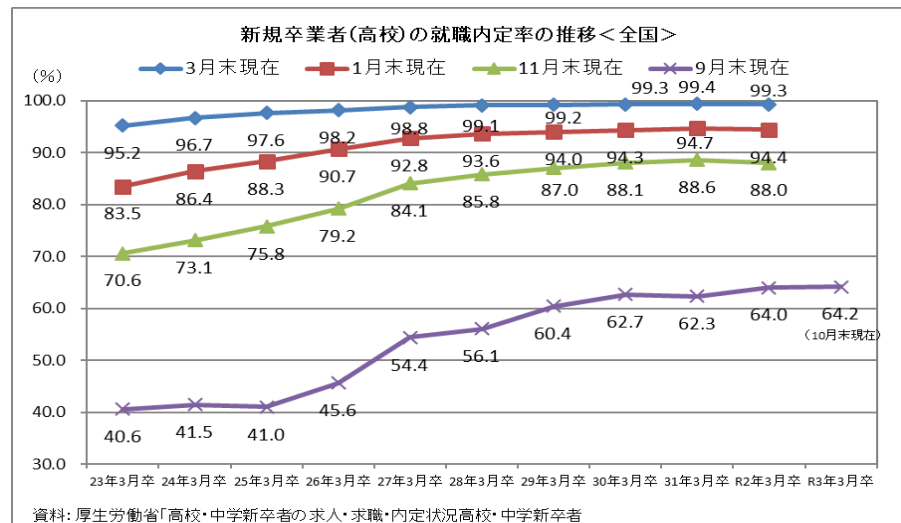
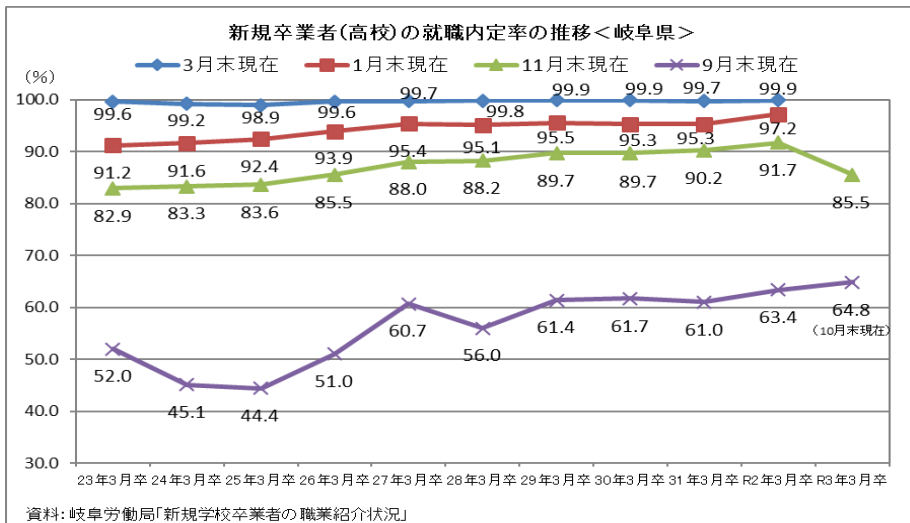
## 現場の動き(2021卒の動きなど)

### <大学へのヒアリング>

- ◆ オンラインでの業界研究イベントを開催したが、参加学生は非常に少なかった。
- ◆ 21卒の内定状況は、ようやく9割を超えた。残っている学生は連絡しても連絡に出ない学生がほとんどである。
- ◆ 21卒の内定状況は、7~8割で、昨年より厳しい。求人も少ない。
- ◆ 21卒の内定状況は、おそらく7割程度。昨年よりも状況は厳しい。(以上、岐阜県内大学)
- ◆ 21卒の内定状況は、90%ほど。22卒の相談も例年に比べると多くないが、このところ少し増えてきた。
- ◆ 22卒の相談も徐々に増えてきた。ただし、動けていない学生は全く動けていないように感じている
- ◆ 授業がオンライン中心のため、大学に来ない学生も多く、状況が掴めていない学生が多い。(以上、愛知県内大学)

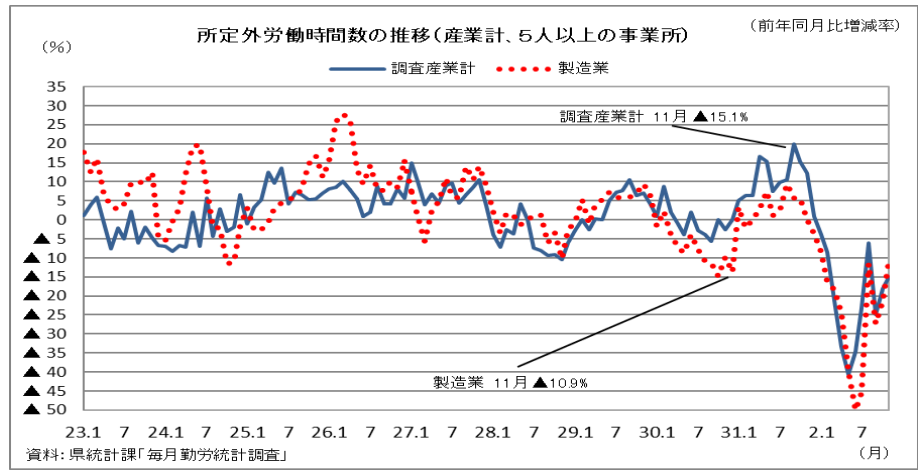
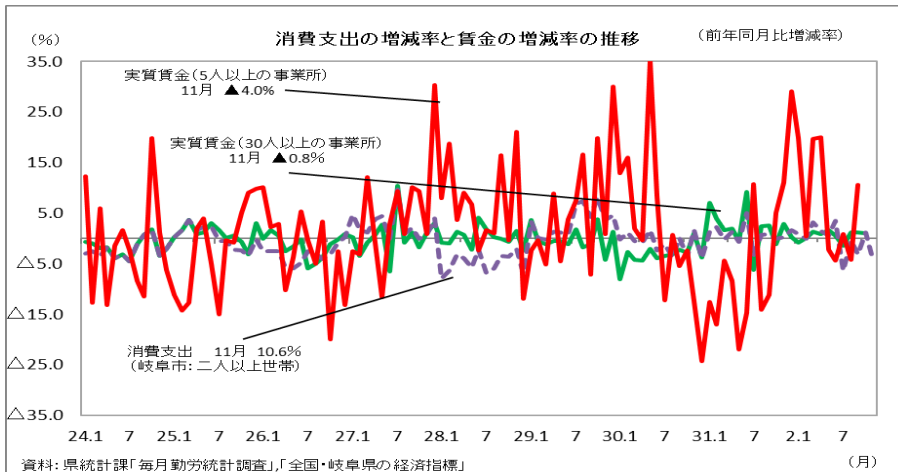
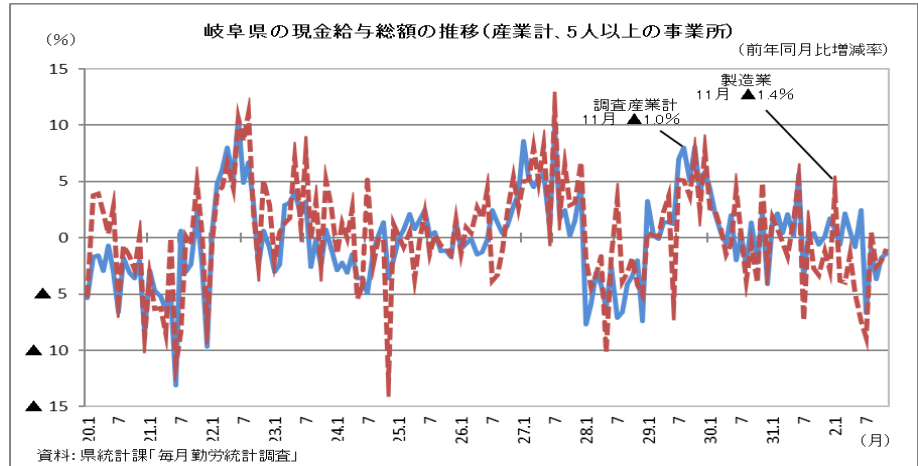
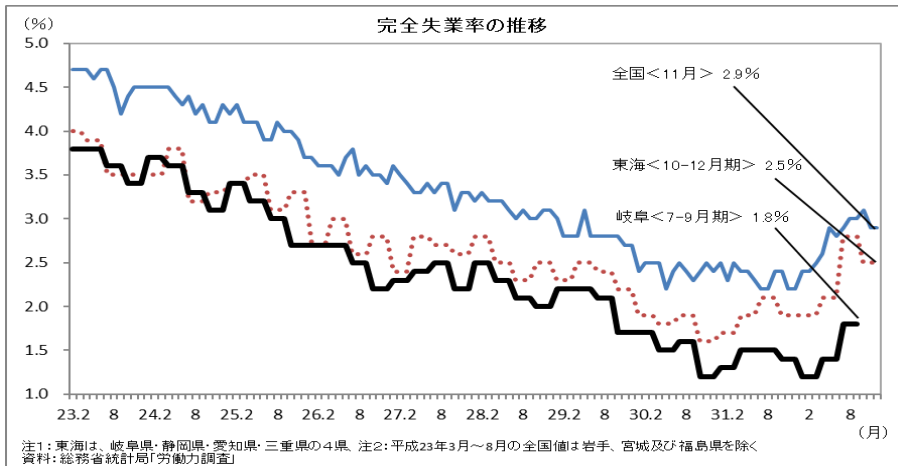
# 雇用(高校新卒者の就職)

- 岐阜県の令和2年11月末時点の高校卒業者(令和3年3月卒業)就職内定率は85.5%であり、前年同時期と比べ▲6.2ポイントと減少した。
- 全国の令和2年10月末時点の高校卒業者(令和3年3月卒業)就職内定率は64.2%であり、前年同時期と比べて0.2ポイント上昇した。



# 雇 用(完全失業率等)

- 全国の12月の完全失業率は2.9%で前月と同率。岐阜県の7-9月期の平均は1.8%で前期比▲0.4ポイントと悪化。
- 11月の現金給与総額は、調査産業計で前年同月比▲1.4%、製造業で同▲1.0%と減少。
- 11月の実質賃金増減率は、5人以上の事業所は前年同月比▲4.0%、30人以上の事業所は同▲0.8%と減少。11月の消費支出については同10.6%と増加した。
- 11月の所定外労働時間数は前年同月比▲15.1%と11ヶ月連続で減少した。



# ＜経済・雇用の現状（総括）＞

- 製造業は、11月の鉱工業生産指数では、前月比0.0%と横ばい。ヒアリングでは、電子材料関連が堅調であるほか、自動車関連も需要が戻ってきたとの声があった一方で、世界的な半導体不足や昨年10月に他県で発生した半導体工場の火災による影響を受けているという声があった。
- 地場産業は、11月の鉱工業生産指数では、繊維工業を除いて、多くの産業で上昇した。ヒアリングでは、ネット販売は好調との声があったが、繊維工業ではファッション、ビジネススーツ関係はかなり厳しいとの声や窯業では業務用の陶磁器の需要が大幅に減少しているとの声があった。
- 設備投資は、12月の金属工作機械受注額において、国内向けでは25ヶ月連続で前年を下回ったが、海外向けでは2ヶ月連続で前年を上回り、全体としては2ヶ月連続で前年を上回った。ヒアリングにおいては、設備投資に際して国等の補助金の活用を予定しているとの声が多くあった。
- 個人消費は、コンビニの販売額が▲0.6%と低下したものの、ホームセンター、百貨店・スーパー、家電大型専門店、ドラッグストアの販売額は全て増加した。ヒアリングにおいては、大型スーパーにおいて売上は増加しているが来客数は減少しているとの声、商店街からは緊急事態宣言以降、来客が激減しているとの声や酒店の売上が大幅に落ち込んだとの声などがあった。
- 観光は、新型コロナウイルス感染症の影響により、観光客数、宿泊者数ともに前年同月を大きく下回った。ヒアリングでは、GoToトラベルの一時停止と緊急事態宣言により予約が激減しているとの声や2月は全日休館を予定しているとの声があった。
- 企業の資金繰りは、12月の制度融資実績では、引き続き、件数、金額ともに前年同月比で大きく増加した。金融機関からのヒアリングでは、実質無利子・無担保融資の利用状況は落ち着いているとの声や観光や飲食業などのサービス業は厳しいが、製造業などは回復してきており、影響が二極化してきているとの声があった。
- 雇用面は、12月の有効求人倍率が1.28倍と4ヶ月連続で上昇した。ヒアリングでは、人材不足となっており、新卒者、中途採用、派遣社員いずれも集まりにくい状況との声もある一方、繊維工業などでは余剰感があるとの声があった。